

## 新たな物流・配送のラストワンマイル対策とは

### ◆宅配便の年間取扱数は40億個を突破し過去最高に

国土交通省は2017年7月、16年度の宅配便取扱個数は前年比7.3%増の40億1,861万個と初めて40億個を突破した、と発表した。ネット通販の急速な普及により、宅配便取扱個数はこの10年で約4割増加している。一方、物流現場では、ドライバー、配達員などの人手不足による長時間労働が問題となっており、これまで提供してきたサービスを維持することが難しい状況、いわゆる宅配クライシスに陥っている。そこで、宅配便各社が注力しているのがラストワンマイル対策だ。ラストワンマイルとは、荷物を各地域の集配拠点から個人宅や建物まで届ける最後の区間のことで全物流コストの約3～5割を占めている。

### ◆新たな対策はロボット、AIなどの先端技術を活用

ラストワンマイルの対策として具体的に取り組んでいるのが、再配達を減らすための宅配ロッカーの設置だ。駅、コンビニなどの消費者が立ち寄りやすい場所に独自または共同で利用できるロッカーの設置を進めている。AIを活用した情報提供も実用化されていて、ドライバーにラストワンマイルの最適な配送ルートを提供したり、荷物の受取人には配達当日にメール等で30分単位の配達時間を通知して不在配達を回避するというサービスも登場している。

ヤマト運輸は、17年4月からディー・エヌ・エー（DeNA）と自動宅配ロボット「ロボネコヤマト」の実証実験を開始している。受取人が自動運転の「ロボネコヤマト」をスマホのアプリを通じて好きな場所に呼び出し、セルフサービスで荷物を受け取る。宅配便の自動配送は自動運転技術の開発に携わるベンチャー企業も実験に着手していて19年以降の実用化を目指している。

ドローンの活用も期待されている。政府は19年にドローン宅配の実現を目指しているため、宅配便各社が実用化の検討を進めている。日本郵便は17年9月に18年に郵便局間の郵便や宅配便の輸送にドローンを導入すると発表し、20年代には個人宅への配送などの本格的な運用を目指すという。

◆欧米で広がる「シェアリングエコノミー」を活用した宅配サービス

一方、EC化率が日本より高い欧米では、新たなラストワンマイルの担い手が登場している。米国では日用品や食事をネットで注文するというライフスタイルが広がっていて、配送の速さと頻度が問われる。そこで、登場しているのが、シェアリングエコノミーの一形態ともいえる地域の一般人による宅配サービスだ。

【個人を活用した米国の宅配サービスの事例】

名称	サービスの内容	開始年
Amazon Flex	Amazon Prime Nowの商品のみ配送。配達人がアマゾンの倉庫で商品を受け取り、受取人宅へ配送。専用アプリでドライバーを支援。車でのみ配送。	2015
UberRUSH	Uberの宅配版。宅配代行に特化したサービス。配達人はアプリを立ち上げて配送サービスの依頼を受け、依頼人、受取人ともにアプリで荷物の配送状況が確認できる。配送手段は地域により異なる。	2015
Instacart	食料品、日用品などの買い物と配送代行。受取人の住まいに近いスーパー等が登録されていてネットで注文。食品小売業135社と提携。配達までの時間により配送料が異なる。	2012
Postmates	宅配代行、スーパー等の買い出し・食事のテイクアウトの宅配を登録した個人が代行。受取人は商品の代金に加え、配送料と月額登録証が必要。車、バイク、自転車などで配達。	2011

(出所：各企業のHPをもとにARC作成)

一般の個人による宅配サービスは11年頃から登場していて、15年には米国のEC市場の3割を占めるとされるアマゾンが、アマゾンフレックス (Amazon Flex) という個人を活用した宅配サービスを導入している。地域の学生や主婦などの時間のある個人が専用アプリを用いて都合の良い時間だけ働くことができる。

◆日本で一般人による宅配サービスが定着する可能性は

シェアリングエコノミーを活用した一般人による宅配サービスは、限定的だが日本にもある。米ウーバーは料理の配送サービス、ウーバーイーツ (UberEATS) を16年9月から展開している。バイク便大手のセルートは一般人による宅配サービスを17年8月から開始した。いずれも貨物自動車運送事業法の届け出の対象外となる自転車と125cc未満のバイクを、配送手段としている。

今後もネット通販市場の成長により宅配便の取扱個数は5年後には45億個に達するという予測もある。人手不足が続くなか、ラストワンマイルの新たな担い手として、政府が後押しするロボットやAIなどの先端技術を用いた配送手段のほかに、地域の一般人が役割を果たすようになるかもしれない。 【新井佳美】